

セネガルのサヘル地域におけるマラリア予防啓発活動プロジェクト (2021年4月～2023年1月)



マイクロレベルの啓発活動でマラリア予防を推進！

- **実施団体：**
一般社団法人 Bokk Jambaar
- **対象国・地域：**
セネガル共和国リングール州ンブラヘ村
- **現地カウンターパート**
ンブラヘ村保健ポストの看護師
- **協力内容：**
 - ・蚊よけに効果があるニームの専門家の育成。
 - ・ンブラヘ村保健ポストの保健指導員をマラリア啓発活動のピュアエデュケーターとして育成する。
 - ・巡回訪問や啓発活動を通じて、対象地域の定住民と遊牧民それぞれがマラリア予防意識と知識を向上させる。



■ 団体のこれまでの取り組み：

JICA海外協力隊としてセネガルに派遣されたOBOGが中心となり2013年の設立以降、セネガル北部リングール県を拠点に、保健、教育、女性・若者グループ支援活動を行っている。

■ 事業実施の背景：

- ・2018年に団体が独自でマラリア予防状況を調査した結果、蚊帳や蚊よけ剤、マラリア予防薬の未使用者数が多いことが分かった。
- ・個人・家庭レベルでのマラリアに対する知識や予防対策が不十分なため、マラリアの感染を防ぐことができていない状況であり、個人や家庭、コミュニティでの啓発活動が必要である。

セネガルンブラヘ村の課題と成果

課題

ンブラヘ村の住民の多くは遊牧民であり、1年の半分程を野外で過ごす。遊牧民の生活様式は、マラリア感染源の蚊と接する機会が多いにもかかわらず、マラリアに対する正しい知識や予防対策が十分でない。

成果

- ・保健ポストで働く保健指導員がピュアエデュケーターとしてマラリア予防知識と技術を身につけ、500件以上の啓発活動を行った。
- ・自生するニームを使用したクリームの蚊よけの効果が確認でき、今後のさらなる活用が期待される。



事業の波及効果

！ ニームクリームを活用した新たな挑戦

- ・ニームクリームの製作販売など、現地で新たな仕事や収入に繋げるための新たな活動を今後検討している。

セネガルと日本を繋ぐ！

- ・団体のFacebookやInstagramに加えて、講演会、セミナー、団体主催のオンラインイベント、ニュースレターなどで活動を紹介。

